

令和6年度 高砂市 認知症地域支援推進員活動報告



認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員：4名

(高砂市役所に1名 高砂市地域包括支援センターに3名配置)

2 認知症地域支援推進員の役割

誰もが暮らしやすい地域づくりを進めるため、専門職による相談対応のほか、関係機関・地域住民とともに、市の認知症施策の推進に取り組んでいます

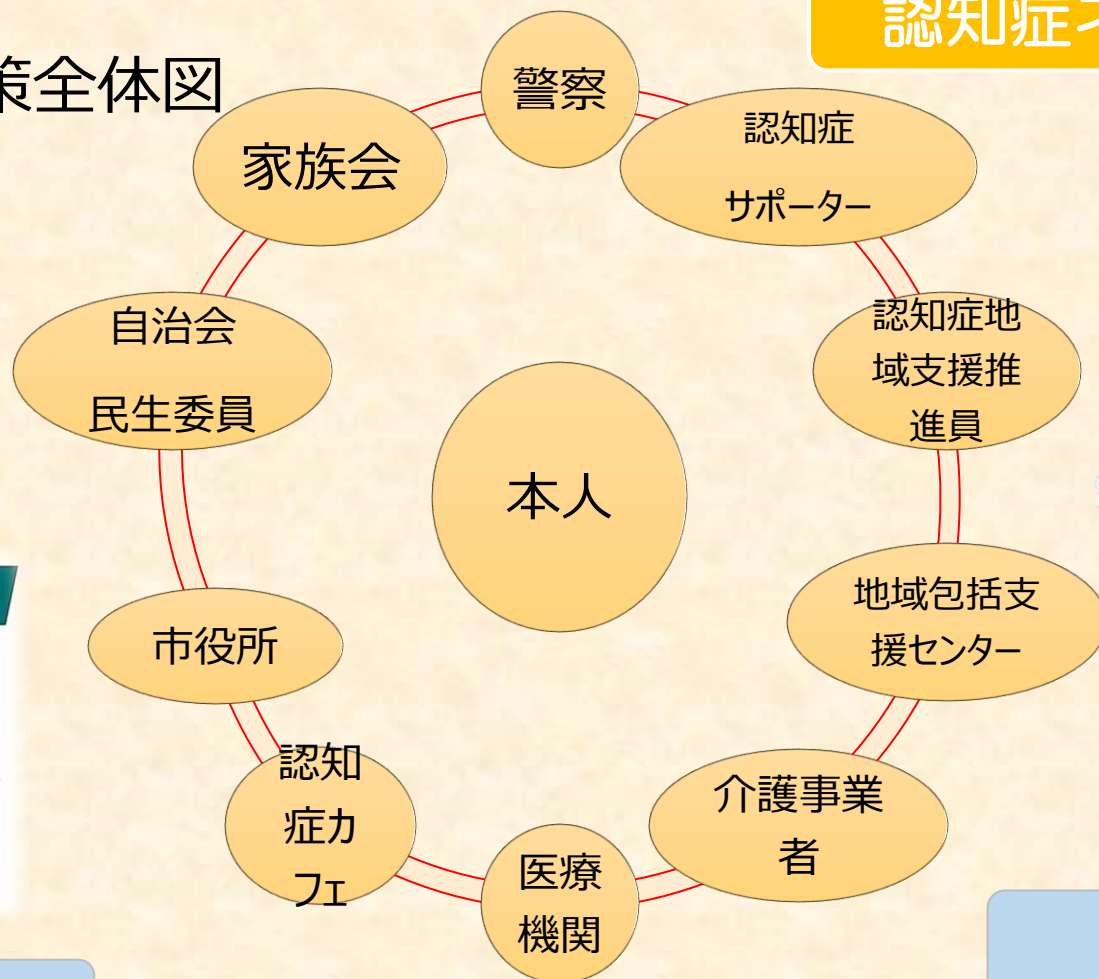
- ・医療・介護等の支援ネットワークの構築
- ・関係機関と連携した事業の企画・調整
- ・相談支援・支援体制の構築
- ・認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供
- ・認知症カフェ・チームオレンジの支援

報告者

市担当課：高砂市福祉部人権福祉室地域福祉課 糟谷 竜史
認知症地域支援推進員：高砂市地域包括支援センター 藤城 ゆかり

高砂市 認知症施策全体図

認知症ネットワーク



認知症サポーターキャラバン



地域連携

予防・早期発見

- あたまの健康チェック(月1回)
- 認知症相談センター(地域包括)
- 認知症相談会(月1回)
- 認知症初期集中支援チーム

- 高齢者等見守り・SOSネットワーク
- 認知症あんしんBOOKの作成(ケアパス)
- 認知症サポーター養成講座・認知症カフェ
- ステップアップ講座・チームオレンジ支援
- キャラバンメイト連絡会の開催
- チームオレンジ(認知症)活動推進グループ会議



ここやねん! 高砂市

高砂市におけるチームオレンジの取り組みについて

高砂市チームオレンジについて



- ①だれでも参加できる。
- ②月に1回程度の参加者の交流がある。
- ③認知症を正しく理解して、応援してくれる人がいる
- ④認知症の人、またその家族の困りごとの手助けができる。

チームオレンジコーディネーターの活動

- ・地域の通いの場やサロン、いきいき百歳体操、認知症カフェ、地区の協議体に出向き、認知症の方の支援ニーズや社会資源の実態把握
- ・生活支援コーディネーター連絡会議に毎月参加し、地域の状況を把握
- ・チームオレンジとして活動が見込まれる住民サポーターへの立ち上げ支援
- ・認知症サポーターステップアップ講座の企画・開催
- ・チームオレンジ登録後はほぼ毎月訪問し、チームオレンジの運営のバックアップ

令和6年度のチームオレンジの取り組みについて（上半期）

4月	今までに立ち上がった、3つのチームの継続支援のため訪問。
5月	チーム継続支援。 キャラバンメイト連絡会 を開催。
6月	チーム継続支援。 新たなチーム開拓のため、いき百のグループへ 訪問 。
7月	チーム継続支援。 お助け隊のグループへ 認知症サポーター養成講座 開催。
8月	チーム継続支援。 チームオレンジ（認知症）活動推進グループ 会議への参加。
9月	チーム継続支援。 新たなチーム開拓のため、いき百のグループへ 訪問 。
10月	チーム継続支援。認知症カフェへ 訪問 。 4チーム目「つたの会」の登録!!



令和 6 年度のチームオレンジの取り組みについて（下半期）

11月	チーム継続支援。新たなチーム開拓のため、いき百のグループへ訪問。 チームオレンジ（認知症）活動推進グループ会議への参加。
12月	チーム継続支援。いき百グループへ認サポ開催。 5チーム目「たすけっと」の登録!! チーム「さくらの会」にて、SOSネットワーク模擬訓練を開催。
令和7年1月	チーム継続支援。新たなチーム開拓のため、集いの場に参加。
令和7年2月	チーム継続支援。包括主催の認サポステップアップ講座を開催。 チームオレンジ（認知症）活動推進グループ会議への参加。 6チーム目「なかよしサークル」の登録!!
令和7年3月	チーム継続支援。地域の集いの場に参加。県の研修に参加。



効果 グループで何気なく行っていた見守り活動だったが、チームオレンジを結成することで、認知症に対する意識がさらに高まった！

シニア春日野



チームロバ



さくらの会



つたの会



たすけっと



なかよしサークル

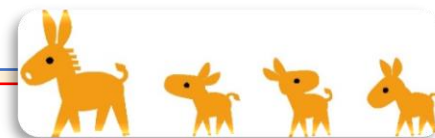




課題

- ・今までは、地域のグループで以前から認知症の方等見守り活動を行っている団体へ働きかけたが、今後は様々な形のチームオレンジを模索したい。
- ・地域包括支援センターに認知症地域推進員と兼務のチームオレンジコーディネーターを1名配置。

認知症地域支援推進員の業務・認知症サポーター養成講座の開催、広報啓発活動の他、包括業務もあり、地域に出ていく時間に限りがある。



最後に・・・

チームオレンジに登録されたチームを定期的に訪問することで、地域の方との関係作りができ、認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができています。

今後も、社協の生活支援コーディネーターや、地域包括支援センターの認知症施策担当者、市と連携、協力して事業を進めていきたいと思えます。

認知症になっても安心して暮らせるまち高砂をめざして